

地域エネルギーによる 日本再生を基盤に描く、 エネルギー将来ビジョン

「私たちの覚悟」

2011年10月26日

崎田裕子

震災を機に見直す 我が国の自然環境



厳しい自然環境

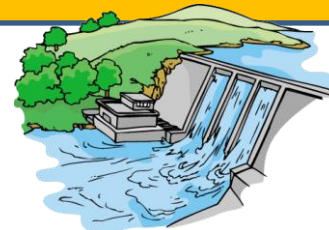
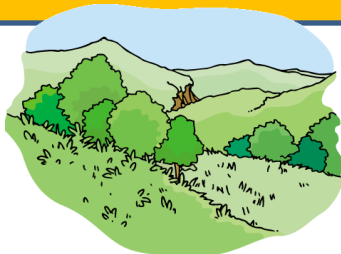
厳しい年間気温差 / 高温多湿

急峻な河川 / 土砂災害

激しい造山活動 / 地震災害

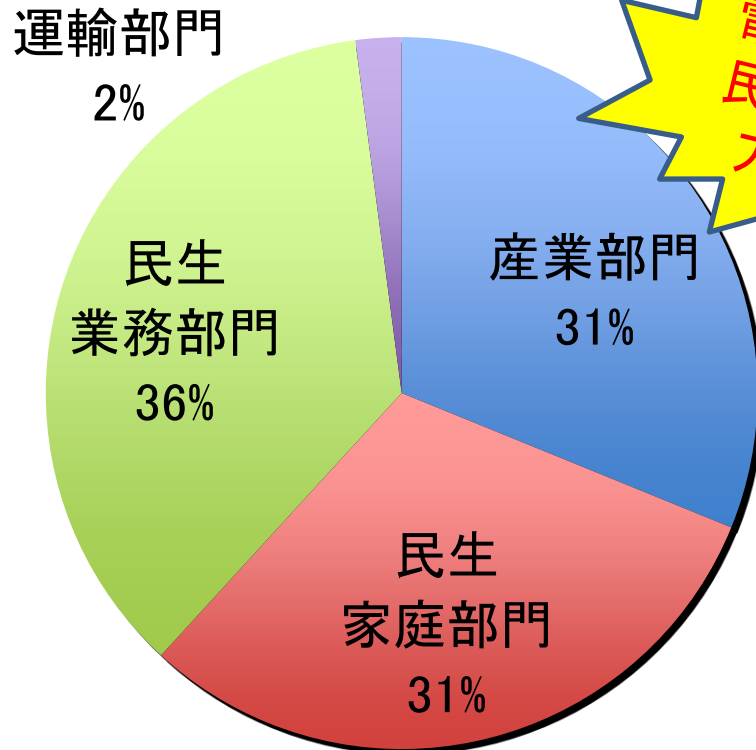
美しい四季の自然美
豊かな地域の文化

自然エネルギーに
恵まれた風土



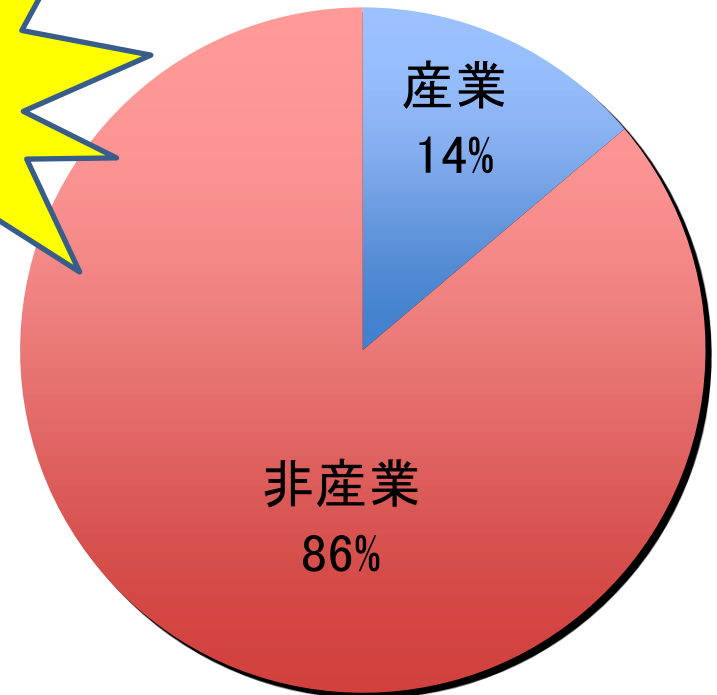
民生部門の電力消費割合

各部門別最終エネルギー消費における
電力使用量(全国)



平成21年度におけるエネルギー需給実績(確報)より作成

都内産業部門・非産業部門
電力使用量



平成21年度 東京都統計年鑑より作成

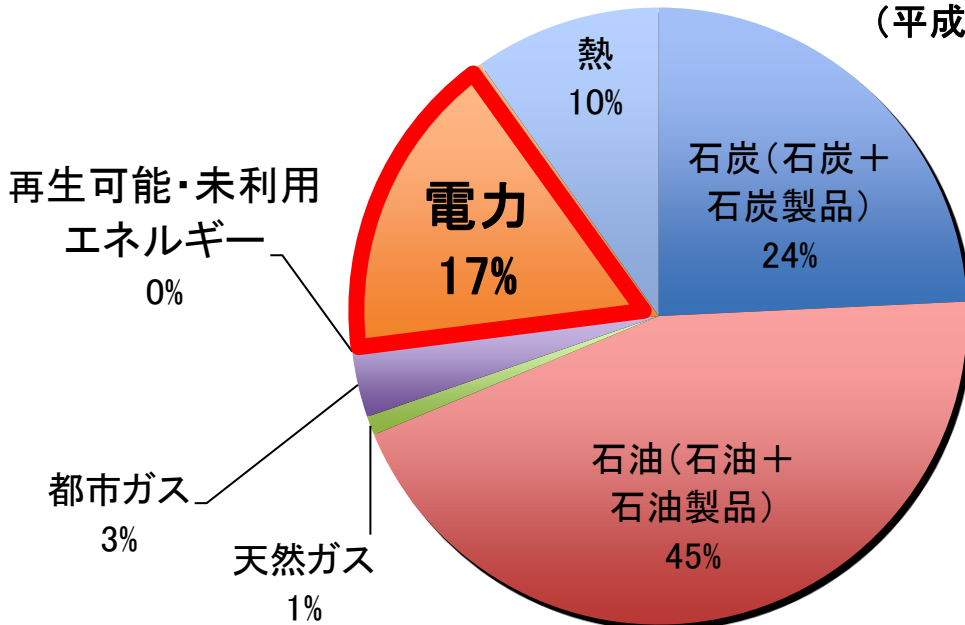
全国で**67%**が民生部門

都内では**86%**が非産業セクターによる電力消費

電力の未来に、生活者の視点を！

産業部門のエネルギー消費内訳

産業部門におけるエネルギー需給実績
(平成21年度)



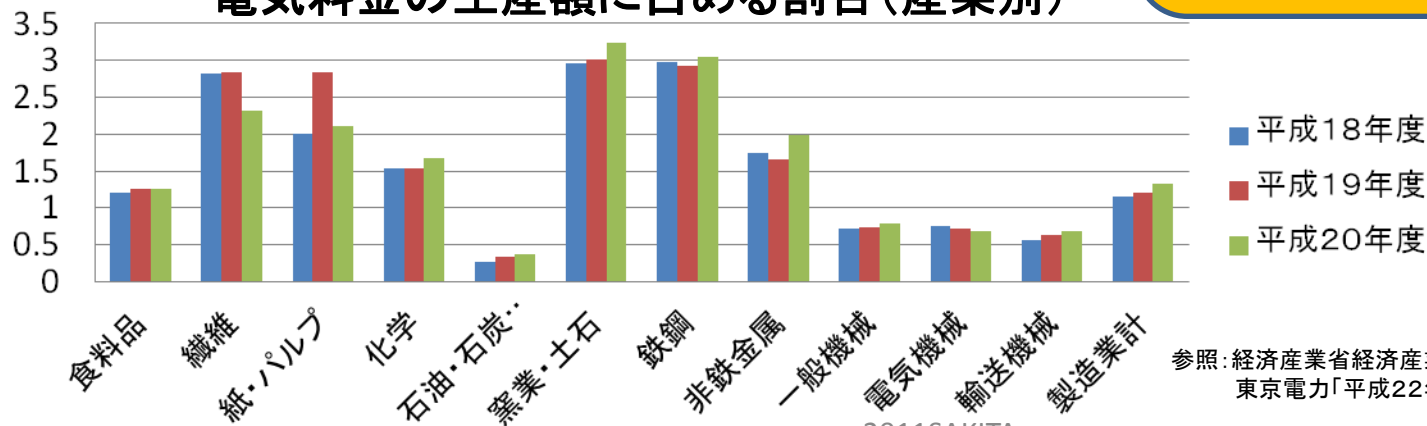
平成21年度におけるエネルギー需給実績(確報)より作成

**電力は産業部門全体の17%
電気料金は生産額の1.32%**

**産業別に電力依存度は違う
産業ごとの議論が必要**

**産業と民生を
分離した議論で
ベストミックスを考える**

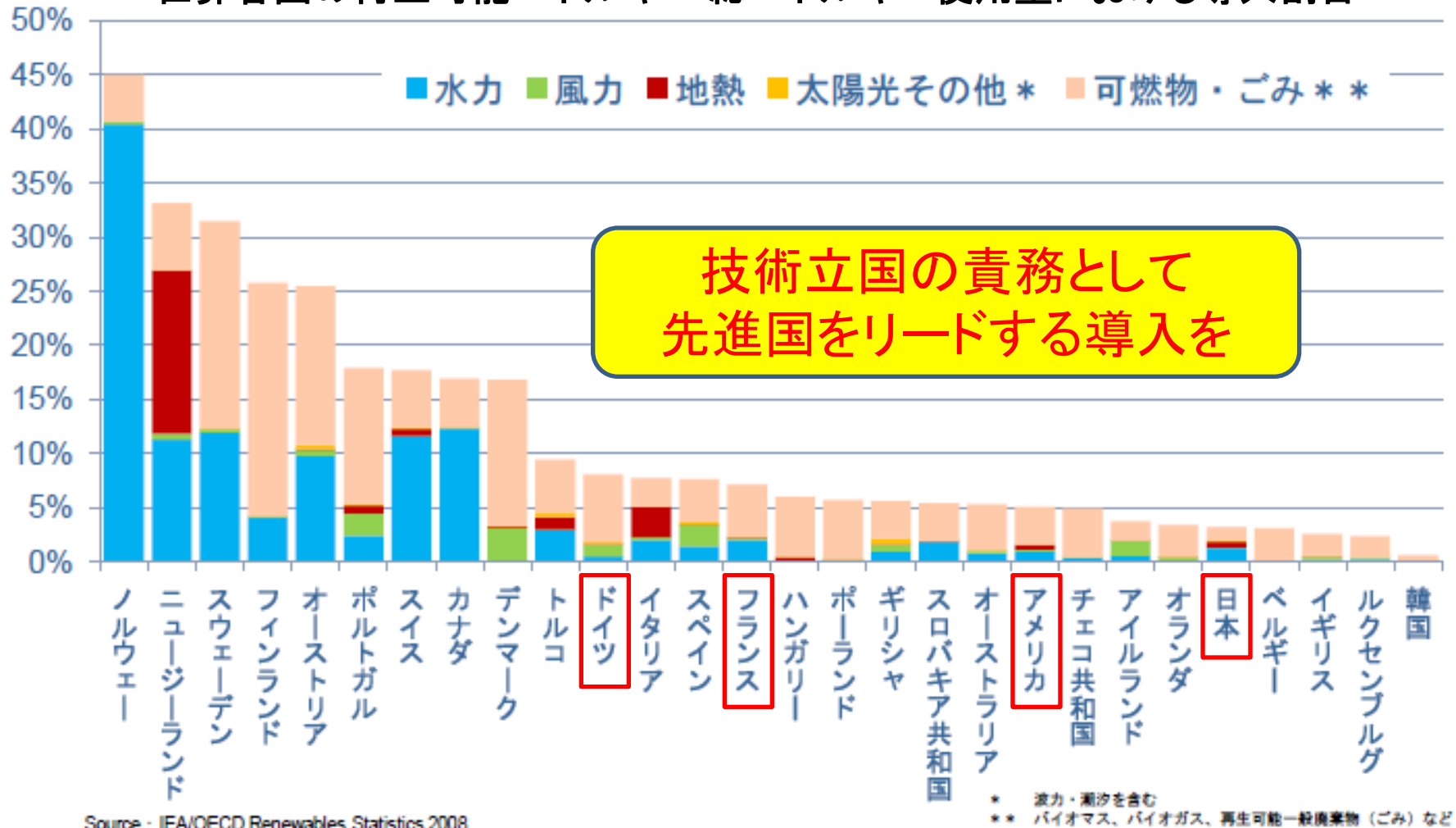
電気料金の生産額に占める割合(産業別)



参照: 経済産業省経済産業政策局調査統計部「工業統計調査」
東京電力「平成22年度数表で見る東京電力」

再生可能エネルギーの世界的動向

世界各国の再生可能エネルギー 総エネルギー使用量における導入割合

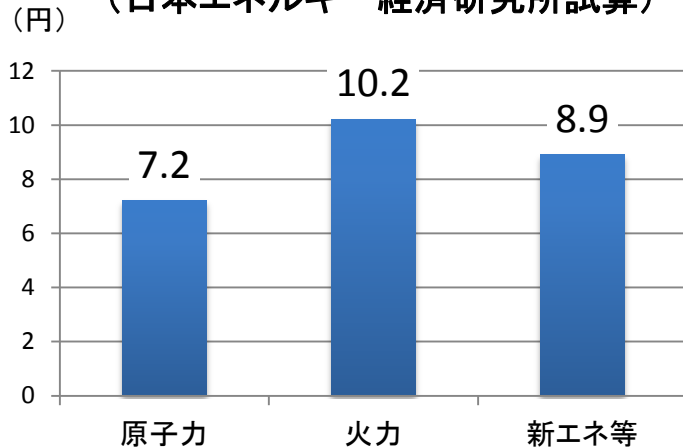


出展：国際エネルギー機関「総合的なエネルギーセキュリティの確保」

再生可能エネルギーを安定に供給する社会システムは
我が国が率先して発信すべき

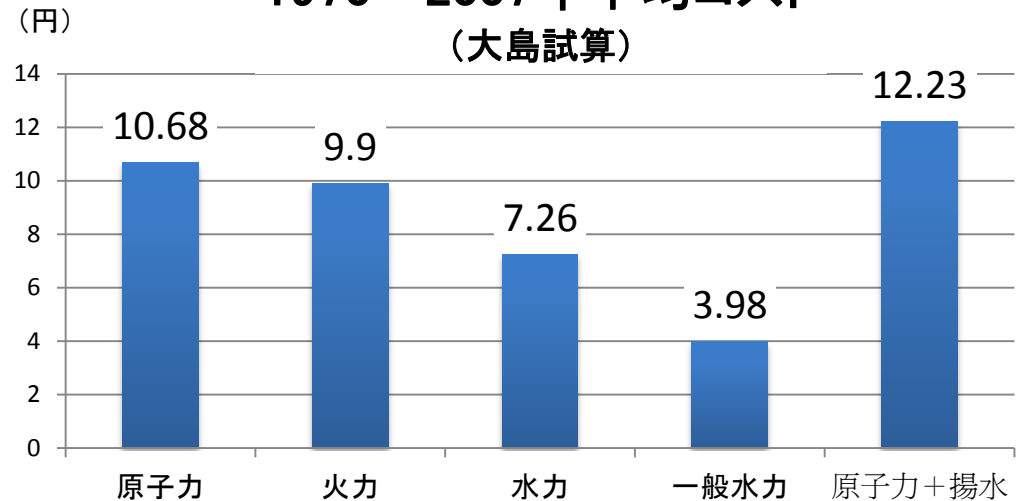
再生可能エネルギーはコストが高い？

2006～2010年平均コスト
(日本エネルギー経済研究所試算)



大島堅一『再生可能エネルギーの政治経済学』、2010年、東洋経済新報社

1970～2007年平均コスト
(大島試算)



(財)日本エネルギー経済研究所『有価証券報告書を用いた火力・原子力発電のコスト評価』、2011年

発電コストは、各種試算が存在する
コストを比較する際は、現在及び将来での相対的評価が必要

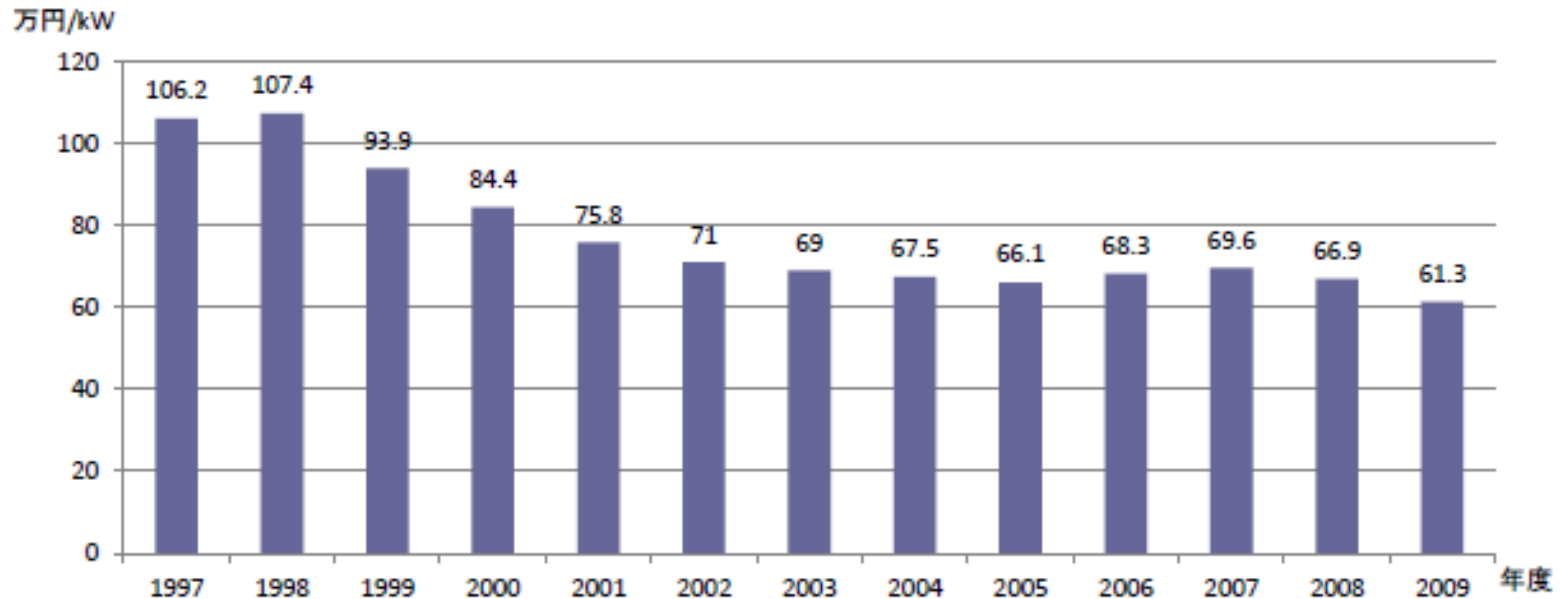


これまでのさまざまな誤解を払拭し
国民的な議論をする必要がある

低コスト化に向けた取り組みの推進

実際に価格の低下は、すでに起こっている

○住宅等における太陽光発電のシステム価格推移



(出典)新エネルギー財団・太陽光発電普及拡大センターのデータを基に資源エネルギー庁作成

出典: 資源エネルギー庁「第8回買い取り制度小委員会 説明資料」

資源価格の上昇

原子力事故の補償
・保険費用の上昇

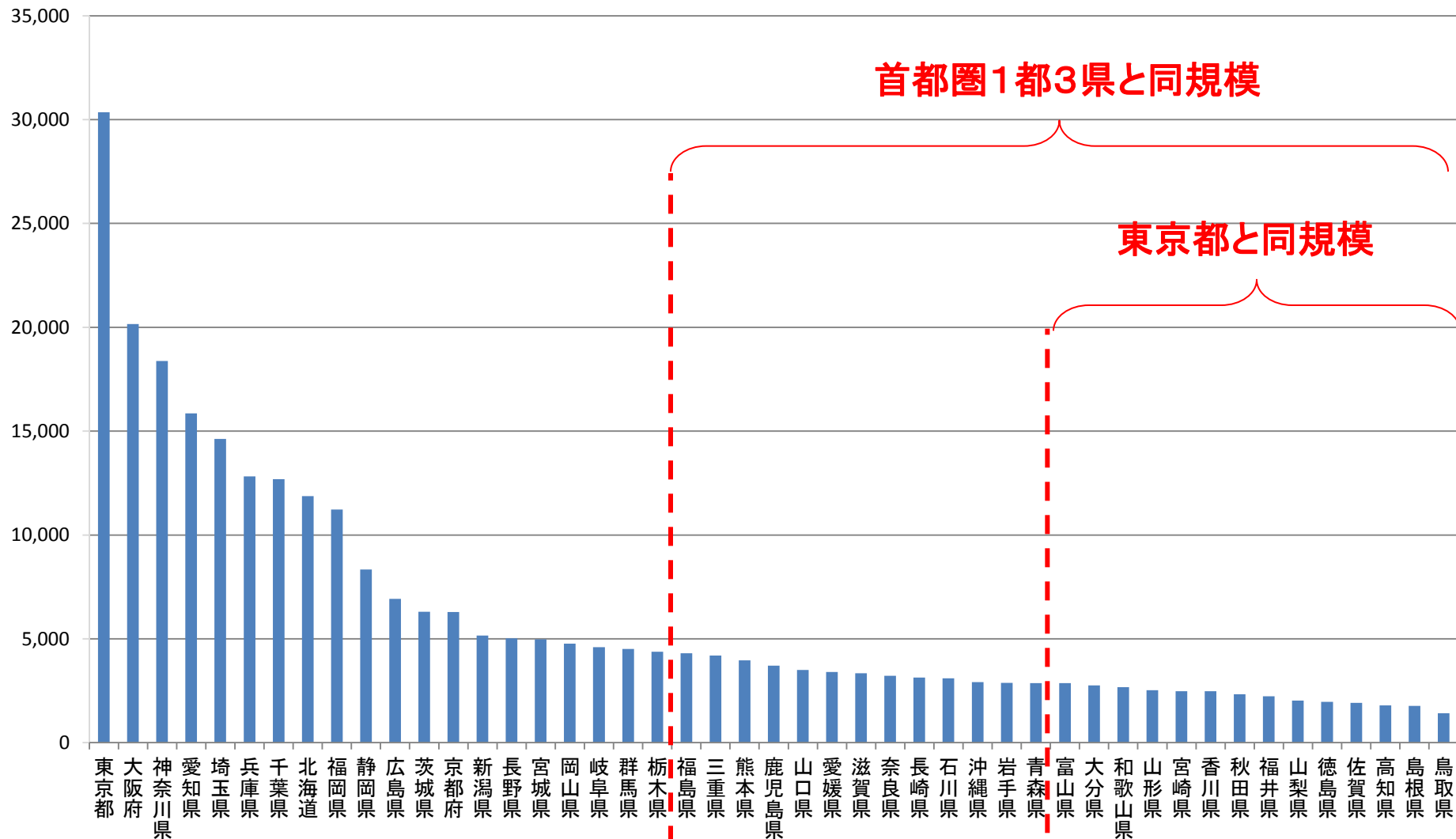


2011SAKITA

今こそ産業界をあげて
再生可能エネルギーの
低価格化を図るべき

都道府県別 電力使用量の比較

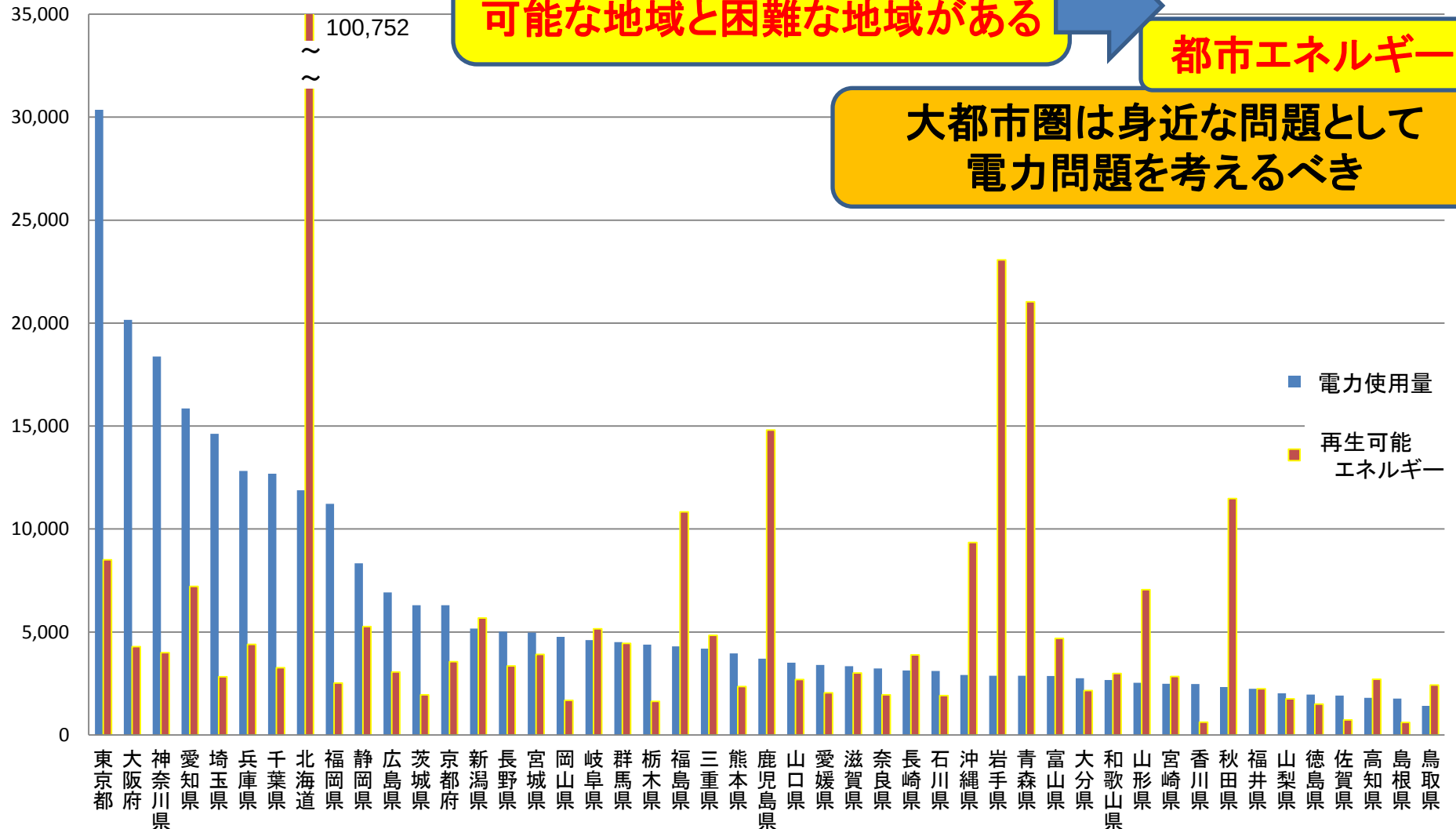
(単位: 百万KWh)



出典: 環境省総合環境政策局環境計画課「平成23年版 環境統計集」より作成

再生可能エネルギーポテンシャルと電力使用量の比較

(単位: 百万KWh)



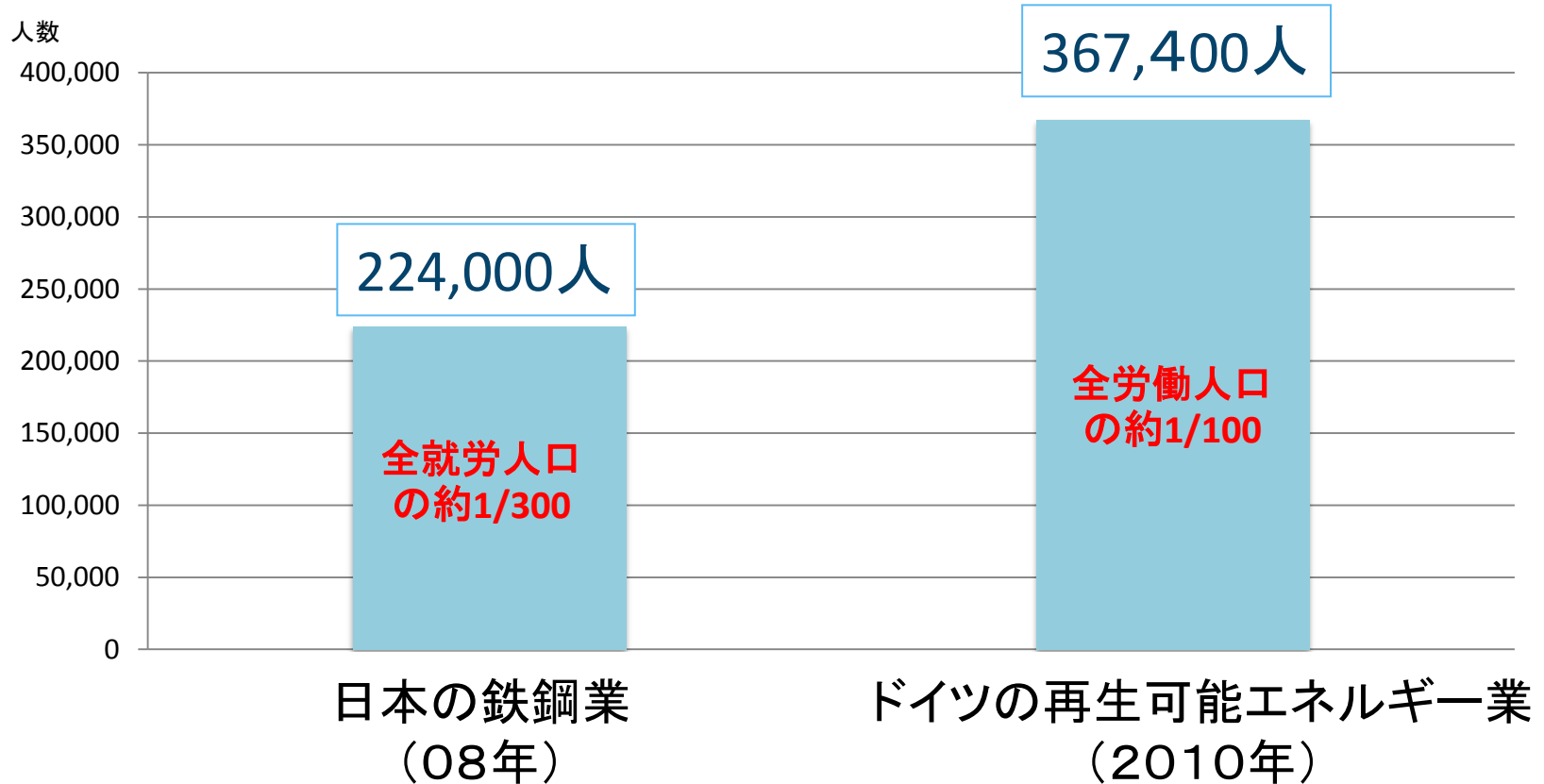
出典: 環境省総合環境政策局環境計画課「平成23年版 環境統計集」より作成

出典: 総務省緑の分権改革推進会議 第四分科会「再生可能エネルギー資源等の賦存量等の調査についての統一的なガイドライン」⁹

※シナリオ①の数値を採用。ただし、風力は陸上のものだけとし、洋上はのぞく。

再生可能エネルギーの活用による雇用の創出

雇用者数の比較



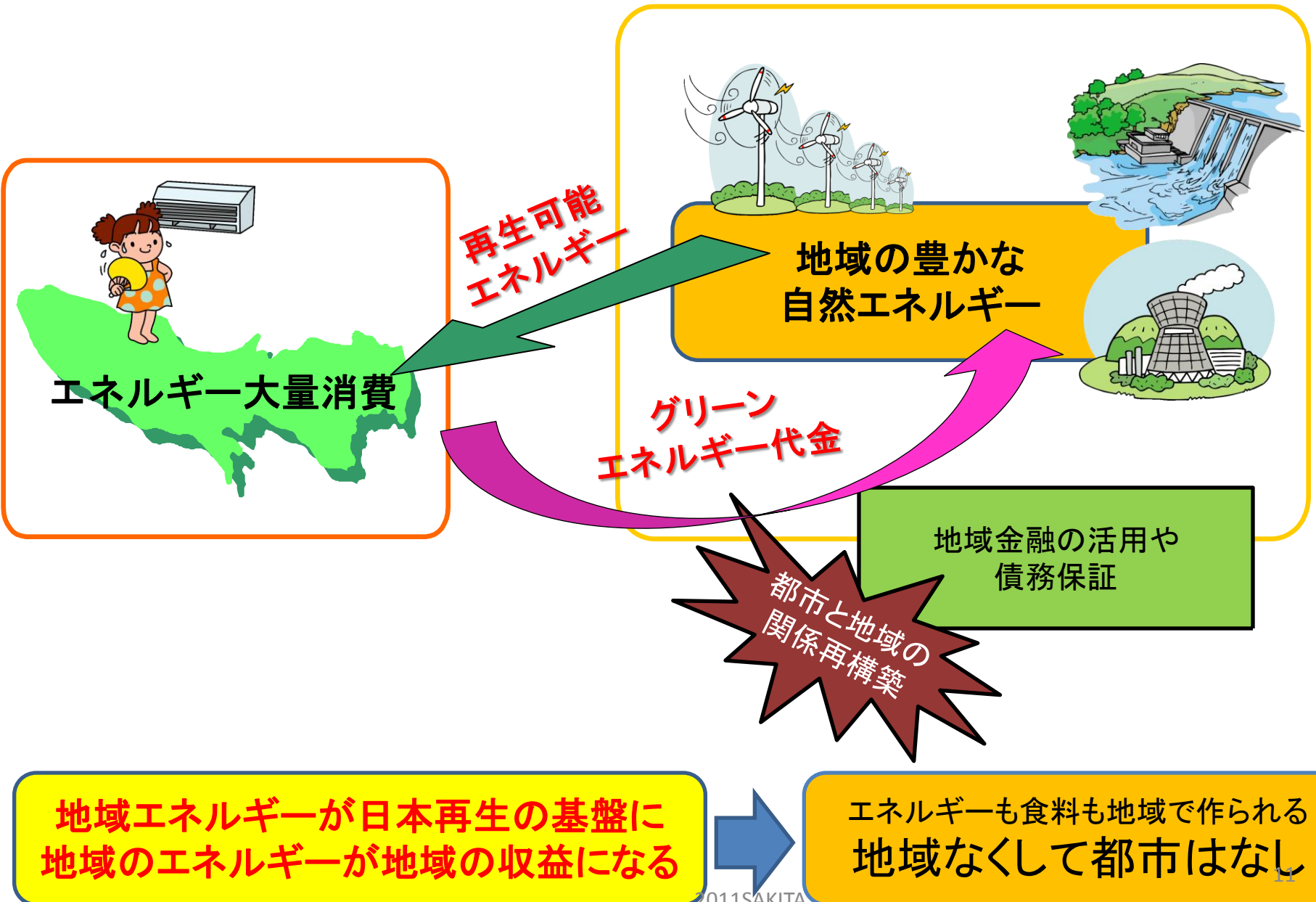
経済産業省『ものづくり白書』、2010年 <http://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2010/>
BMU "Renewable Energy Sources 2010", 2010

再生可能エネルギーを活用して
我が国の産業構造の見直しを図る



地域に雇用が生まれ
地域が豊かになる

大都市とエネルギーが豊かな地域との需給連携



地域の取り組み

地域のエネルギー
ポテンシャルの積み上げ

- ★未利用エネルギー活用
- ★水力発電等(公営電力)活用



- ★分散電源と再生可能エネルギー
による地域産業の振興
- ★公設民営エネルギー開発
- ★地域マネーの循環

地域のエネルギー
需要の把握

地域での熟議
と合意形成

多くの地域は需給バランス可能
大都市圏の問題が浮き彫りに

日本再生を地域
エネルギーから！
私たちの覚悟

都市の取り組み

民生の議論

産業の議論

- ★大都市圏でのベストミックスを考える
- ★大都市圏ならではの削減方法に取り組む
- ※民生と産業を分けた冷静な議論が必要

地域金融の活用や
債務保証

ローカル戦略

グローバル戦略

- ★地域のエネルギーを買う
- ★地域で事業展開をする

都市と地域の
winwin関係
再構築

電力政策5つの誤解

①電力対策は産業対策が要

電力利用比率から見ると産業より民生電力対策が本丸

②再生可能エネルギーはコストが高い

ほぼ逆転が起こりつつあり、産業界の努力で更に安価へ
原子力、化石エネルギーは必ず値上がり、国民負担増加へ

③発電施設は地域の発展につながらない

地域なくして都市はなし、
都市のエネルギー需要で地域の雇用拡大へ

④再生可能エネルギーは風任せ（不安定）

スペインなどでは、ベース電源として活用、やり方次第

⑤系統整備にお金がかかる

系統は、電信線や高速道路と同じく公共的なもの
公共的に整備を

提案する3つの基本方針

①エネルギーは
地域での熟議と合意形成で

②都市と地域の
winwin関係再構築で

③日本再生を地域エネルギー
から図る「私たちの覚悟」で

エネルギーの将来展望

再生可能エネルギー

地域での取り組み

原子力発電

短期 3～4年をメドに(できれば1～2年で方向性を)

エネルギーポテンシャル
の積み上げ

試行的事業の
吟味と横展開

地域での熟議
地域からの
エネルギー展望
(コジェネ・ガス体
熱利用を含む)

省エネの取り組み

原子力に対する
情報の一層の開示

安全確認できない
原子力発電の停止

中期 10年先(5年をメドに前倒しになることが望ましい)

実効性ある
発電量の確保

再生可能エネルギー業おこし

需要と供給の
ベストミックスの
見極め

段階的な
原子力発電
の削減

長期 20年先(10年程度前倒しになることが望ましい)

再生可能エネルギー
先進国の確立

地域の再生・日本の復興
エネルギーと地域の自立

地域の覚悟を踏まえた
他のエネルギーへの代替
を進める